

資料5

Ⅱ② 経営健全化計画の完了報告の概要について

○経営健全化計画の完了報告を行った公営企業会計の団体名・会計名一覧

事業区分	都道府県名	市区町村名	会計名	概要掲載ページ数
簡易水道事業	鹿児島県	屋久島町	簡易水道事業特別会計	1
		瀬戸内町	簡易水道事業特別会計	3
交通事業	北海道	苫小牧市	自動車運送事業会計	5
	鹿児島県	瀬戸内町	船舶交通事業特別会計	7
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	金矢工業用地造成事業会計	9
	奈良県	奈良市	宅地造成事業費特別会計	11
下水道事業	青森県	田舎館村	下水道事業会計	13
	和歌山県	白浜町	下水道事業特別会計	15
	鹿児島県	瀬戸内町	農業集落排水事業特別会計	17
観光施設事業	奈良県	奈良市	針テラス事業特別会計	19

鹿児島県屋久島町 簡易水道事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計から繰入れについては、計画どおり実施。(169,000千円)
- ・ 若年層職員の配置による、人件費の削減。(前年度対比5,708千円減)
- ・ 施設修繕の直営化による経費削減。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A		49,418	52,378
解消実績額 B		62,339	58,294
現在計画 C		—	58,294
B-A 又は C-A		12,921	5,916
資金不足額	136,580	74,241	15,947

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	51.4	34.0	28.5	13.6	6.2

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 安定した事業運営を行うため、施設整備に係る長期計画策定に取り組む。
- ・ 策定した長期計画に基づき、事業の点検と見直しに取り組む。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 一般会計から繰出金の確保を行う。
- ・ 適切な料金設定の検討を進める。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 施設修繕の直営化を堅持する。
- ・ 資材管理を徹底する。
- ・ 必要機材の内部利用を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 施設整備に係る長期計画策定に取り組む。
- ・ 策定した長期計画に基づき、事業の点検と見直しに取り組む。

鹿児島県瀬戸内町 簡易水道事業特別会計
経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・平成21年10月の料金改定により計画を上回る1,725千円の収入増。
- ・一般会計からの繰入れについては、27,000千円を実施。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A			15,677	16,222
解消実績額 B			33,078	47,651
現在計画 C			—	47,651
B-A 又は C-A			17,401	31,429
資金不足額		88,255	55,177	7,526

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	計画初 年度の 前年度 実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	140.8	114.2	86.2	87.3	11.3

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・水道使用料の徴収率の向上を図るため、口座振替の推進を図っている。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・未収金の徴収等の強化により、徴収率の向上を図る。
- ・今後も一般会計からの繰入を実施する。

② 支出の削減に関する事項

- ・施設の適切な維持管理による経費削減に努め歳出の抑制を図る。

③ その他

- ・今後も水道使用料の徴収率の向上を図るために、口座振替の推進を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・今後も施設の統合を含めた管理体制を見直し、安定した経営の維持に努める。

北海道苫小牧市 自動車運送事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・人件費等の削減については、当初計画より前倒しで実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A		63,910	29,635
解消実績額 B		80,221	145,318
現在計画 C		—	145,318
B-A 又は C-A		16,311	115,683
資金不足額	309,410	229,189	83,871

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	33.4	28.0	25.9	25.8	9.6

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・正規運転手の配置転換及び委託拡大について、労働組合の理解と協力を得て進めている。
- ・職員に対し、経営健全化に向けた意識改革に努めている。
- ・市民のニーズや利便性を考慮しながら、効率的な路線編成に努めている。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 市民生活に密着した路線編成により、利用者の増加に努める。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 正規運転手の配置転換及び委託拡大による経費の縮減の継続。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 平成 24 年 3 月 31 日をもって事業を廃止し、民間事業者へ事業を譲渡する。

鹿児島県瀬戸内町 船舶交通事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 収入増加を図るため利用促進に向けた取組みとして、加計呂麻島で各種イベントを開催。
- ・ 瀬戸内町船舶交通事業運営委員会を開催し、経営改善に向けた検討会を実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画以上に実施。(25,000千円)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A		11,256	24,467
解消実績額 B		70,389	28,517
現在計画 C		—	28,517
B-A 又は C-A		59,133	4,050
資金不足額	98,906	28,517	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	82.9	72.5	23.4	51.2	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 計画の進行管理について、決算の数値等を用いて検証・評価を実施。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 観光客の誘致に努め収入の増を図る。
- ・ 加計呂麻島、請島、与路島の農業振興を推進し、貨物輸送の拡大による収入増を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 燃料費削減の為、省力化運転を徹底する。
- ・ ドック、備品については入札による調達とし、経費の圧縮を図る。
- ・ 臨時船員の給与体系を見直し、人件費の削減を図る。

③ その他

- ・ 複式簿記への移行を図り、運航部門並びに事務部門のコスト意識の向上を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 人件費抑制の手段として、民営化も視野に入れた新たな経営方法を検討していく考えである。

青森県新産業都市建設事業団 金矢工業用地造成事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・県からの長期借入の実施予定に替えて、補助金の繰入れを実施。
- ・他会計剰余金からの長期借入については、当初計画どおり継続実施。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A		725,938	659,485
解消実績額 B		719,619	2,747,513
現在計画 C		—	665,804
B-A 又は C-A		△6,319	2,088,028
資金不足額	1,385,423	665,804	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率 \ 年度	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	51.1	24.3	24.5	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・引き続き、委託団体である県と連携して分譲促進に努める。

② 支出の削減に関する事項

- ・経費の節減及び効率的執行に努める。

奈良県奈良市 宅地造成事業費特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・平成22年度に一般会計において第三セクター等改革推進債を起債し、宅地造成事業費特別会計に対して補助金として繰出しを行い、その資金により当会計は借入金を全額返済し、会計を閉鎖した。
- ・会計閉鎖後、売却可能な完成土地については、速やかに売却ができるよう進めており、また造成等が必要な未成土地については、実現可能な計画を模索中であり、一日も早い資金回収ができるよう検討している。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A			△27,096	1,171,978
解消実績額 B			5,437	1,139,445
現在計画 C			—	1,139,445
B-A 又は C-A			32,533	△32,533
資金不足額		1,144,882	1,139,445	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	実績値	35.5	34.5	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・できるだけ早期に保有地の処分等を行えるように、各地の現状の確認を行っている。
- ・市民・議会に対する理解を得るために、保有資産のできる限りの資金回収策やその他の今後の計画方針を公表する準備も進めている。

2 今後の残保有地の活用による起債の償還方針

- ・宅地造成事業費特別会計については、平成 22 年 10 月 29 日付けで閉鎖したことから、当会計の残保有地については一般会計への引継ぎを行った。
- ・保有する完成土地については、販売価格等の見直しを行い、新たに計画を立て直して積極的な販売活動を早期に行う。未成土地については、一部は販売計画を練って早急に売却を進める。
- ・土地の処分による収入が得られた場合には、第三セクター等改革推進債の繰上償還もしくは減債基金積立等の措置を講じる。

青森県田舎館村 下水道事業会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 一般会計からの繰入れについては、当初計画より増額して実施。
- ・ 経常経費の削減合理化については、事務事業の見直し等による委託業務等の削減を継続。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画	A		180,879	86,046
解消実績額	B		191,433	212,964
現在計画	C		—	212,964
B-A 又は C-A			10,554	126,918
資金不足額		274,079	82,646	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	実績値	283.3	90.6	80.8	6.9
					—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 必要に応じ使用料の見直しを検討。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 事務事業の見直し等による委託業務等の削減を継続。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 地域住民に対する情報開示及び経営状況の周知を実施。

和歌山県白浜町 下水道事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 接続率の向上については、当初計画どおり町広報誌やコミュニティラジオ放送を利用した啓発活動、接続普及促進員を中心とした戸別訪問を実施。
(H22年度末 下水道接続率 62.3%)
- ・ 料金改定については、当初計画どおり H23 年4月からの料金改定(平均改定率 14%) 実施に向け、住民説明会を開催
- ・ 一般会計からの繰入については、当初計画どおり実施
- ・ 経費削減については、当初計画どおり職員数を最小限度に抑えると共に、民間委託を引き続き実施。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画 A			265,647	45,811
解消実績額 B			294,854	178,491
現在計画 C			—	178,491
B-A 又は C-A			29,207	132,680
資金不足額		344,166	49,312	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)	
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	355.2	78.1	49.2	31.5	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 接続普及促進員を中心とした戸別訪問を強化して接続率の向上を図る。
- ・ 平成 23 年度に料金改定（平均改定率 14%）を実施。その後の料金改定は、経営状況を勘案しながら検討。
- ・ 資本費は全額一般会計負担とし、地方財政法上の累積赤字解消のため、引き続き一般会計繰入金の確保を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 引き続き処理場の維持管理業務等の民間委託を行い、維持管理費を低く抑える。
- ・ 行政職員数を最小限度に抑える。
- ・ 公債費の負担軽減を図るため、高金利地方債の借換えによる繰上償還を実施。

③ その他

- ・ 今後の整備区域拡大については、社会経済情勢の動向や住民の意向を踏まえ、費用対効果も考慮して休止等を含め慎重かつ適切に対応する。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 今後とも、職員の更なる意識改革を進めると共に、住民への経営状況の公開を推進する。

鹿児島県瀬戸内町 農業集落排水事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・個別訪問等を実施し、料金収入が計画を5.4%上回るものとなっている。
- ・汚泥汲取手数料等の削減により営業費用がほぼ計画(7,735千円)どおりの7,729千円になっている。
- ・一般会計から繰入れについては、当初計画どおり実施。(27,694千円)

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成22年度)
当初計画 A			2,901
解消実績額 B			2,901
現在計画 C			2,901
B-A 又は C-A			0
資金不足額		2,901	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度 (平成22年度)	
	計画初年度の 前年度 実績値	計画値	実績値
資金不足比率	43.9	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・農業集落排水使用料の徴収率の向上を図るために、口座振替の推進を図っている。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・未収金の徴収等の強化により、徴収率の向上を図る。
- ・一般会計からの繰入金の確保を図る。

② 支出の削減に関する事項

- ・施設の適切な維持管理による経費削減に努め歳出の抑制を図る。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・今後、口座振替対応金融機関の拡大と推進を図り、安定した徴収と管理体制の見直しに努める。

奈良県奈良市 針テラス事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の平成22年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 針テラス事業特別会計の資金不足原因が事業契約の相手方である株式会社三興の土地使用料の未納であることは明らかであり、平成22年12月末現在においての未納額は、259,500千円となっている。
- ・ 未納となっている土地使用料の支払を求めて、平成19年6月から奈良簡易裁判所において計10回の調停を行ったが不調に終わり、平成20年12月に奈良地方裁判所に提訴し、計10回の口頭弁論を行った後に6回の和解協議を経て平成22年12月27日に和解が成立した。
- ・ その結果、株式会社三興は平成22年度に土地使用料として297,875千円、遅延損害金23,856千円を納付した。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)
当初計画	A		△49,194	187,439
解消実績額	B		△29,194	167,439
現在計画	C		—	167,439
B-A 又は C-A			20,000	△20,000
資金不足額		138,245	167,439	—

(3) 資金不足比率の状況

(単位：％)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	276.4	624.8	334.8	—	—

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・奈良市と株式会社三興との間で係争をしていた事件について、平成 22 年 12 月 27 日に和解が成立し未納金が完納されたことにより資金不足額を解消した。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

① 収入の増加に関する事項

- ・ 今後は株式会社三興が、遅滞なく月々の土地使用料を納めるよう契約の遵守を求め歳入の確保に努めます。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 針テラス事業を行うための用地取得の財源は、地方債を発行することにより確保した。この地方債の償還は、平成 12 年 9 月から平成 41 年 9 月までの 30 年間で計画している。平成 22 年 3 月には借入金を低利に借り換え、以後の歳出の削減を行っている。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 針テラス事業の円滑な推進、発展のために設置した針テラス事業協議会を定期的を開催する。